

--	--	--	--

## — 私経研特別セミナー —

## 学校法人におけるリスクマネジメント

日時	2020年10月9日(金) 13:00～17:00 受付 午後12時より
会場	大阪ガーデンパレス 大阪市淀川区西宮原1-3-35 TEL.(06)6396-6211
定員	60名 ※1法人2名様までのご参加とさせていただきます。
講師	藤江 俊彦氏 [千葉商科大学名誉教授・同大学院客員教授]

## 本セミナーの概要

近年、学生・教職員を巻き込んだ事件・事故が多発しておりますが、加えて頻発する自然災害、さらには今年度はコロナ感染症対策など学校における危機管理は広範囲におよび、その重要性は年々増すばかりです。それだけに、学校は日常から不測の事態に備え学内の組織体制を整備し、万一トラブルが発生した場合には迅速かつ適切な対応により、その被害・影響を最小限に抑えなくてはなりません。

そこで本講座では、危機管理の専門家でもある藤江俊彦講師をお招きし、学校法人の危機管理に対する考え方やトラブル発生時の対処法について、事例を交えながら詳しく解説していただきます。

私学理事者をはじめ管理職の皆様の多数ご参加をお待ち申し上げます。

## 申込要領

- 参加料 会員 11,000円(資料代、消費税含む)  
非会員 19,800円( " )  
本セミナーの録画は行いません。  
★ この機会にご入会の方は、本セミナー1名無料とさせていただきます。
- 申込方法 ① 本会ホームページの「セミナー申込フォーム」又はEメール (skkseminar@sikeiken.or.jp)  
② FAX (下記申込書にご記入の上、(06)6321-3207へお送り下さい。)  
お申込み後、参加証と請求書をお送りいたします。領収証をご希望される場合は下記までお申し出下さい。  
なお、コロナ禍により開催中止やキャンセルの場合がありますので、参加料は**セミナー終了後**にお願いします。
- お問い合わせ TEL.(06)6321-2666 公益社団法人私学経営研究会〈担当：黒川・辻・広瀬〉

私経研特別セミナー(2020.10.9)申込書 FAX:(06)6321-3207		お申し込みはホームページからどうぞ セミナー最新情報もご覧いただけます		<a href="https://sikeiken.or.jp/">https://sikeiken.or.jp/</a> <input type="text" value="私学経営研究会"/> <input type="button" value="検索"/>
学校法人名			会員・非会員	
所在地 〒			参加証と請求書の送付方法 (いずれかに ) Email(PDF) 郵送	
TEL.			Email	
No.	役職名	ご氏名		参加料
参加者			名分	円
			振込予定日	月 日

申込書に記載された役職名、ご氏名等の個人情報は、参加証・請求書・領収証等の発送のために使用します。

## 事故・事件に失敗しないリスクマネジメントとマスコミ対応

- 1、コロナでシフトする時代環境でのリスク管理
  - 備えるべき災害（自然災害・感染症災害）と不祥事（事故・事件）の危機
  - 事故、事件の多様化
  - 学校法人の経営戦略型リスク
  - ネット時代のソーシャル・リスクマネジメント
- 2、不祥事は学園の経営に大きなダメージ
  - 不祥事発生で学園の信用、ブランド、ステータスを損なう
  - 文部科学省からの支援削減、監視強化
  - 法的責任だけでなく、社会的責任・道義的責任の重要性
  - 法人役員、経営幹部の法的義務の一つ「リスク管理義務」
  - 受験者減少による受験料・入学金・寄付金等への影響
  - 運営予算コスト削減の適正と限界
  - 透明な経営への説明責任と情報開示
- 3、コンプライアンス（法令遵守）の意義と効果的対応
  - コンプライアンスとは何か
  - コンプライアンスだけでよいのか
  - コンプライアンス対応の二つのタイプ
  - ヒューマンエラーは起こりうる
- 4、「安全管理」から「リスク管理・危機管理」への発想転換
  - 安全はリスク・危機管理でつくり、持続するもの
  - リスクとは「目的に不確実性が及ぼす影響」（ISO）
  - ハインリッヒの法則（1：29：300）
- 5、リスクマネジメントの三局面とリスク処理手段
- 6、リスク調査・評価と危機管理体制の整備
  - 「リスク」「危機」を発見、予測、認識する
  - リスク処理手段の選択…判断基準
  - 危機管理委員会の機能と役割
  - 危機の予測と優先順位づけ
  - 緊急対策本部の設置と役割
  - 通報体制の整備とリスクコミュニケーション
  - 事象の直視からリスクの見える化
- 7、危機管理マニュアルの作成と研修・トレーニング
  - 危機管理マニュアル（危機管理要綱）とは何か
  - マニュアル作成の留意点
  - 効果的研修・講習とツールの作成
  - トップ幹部のメディア・トレーニング
- 8、事故・事件発生時の対応
  - 何が起きたか（5W1H）の確認
  - 事象関係者の洗い出し、優先順位付け
  - 対応方針（発信方法、時期、会見者、対象、伝達内容等）
  - 確認情報での声明文作成（伝えるべきこと、ポジションノート、表現）
- 9、マスコミ取材への対応と緊急記者会見の留意事項
  - マスメディア対応は社会的責任（説明責任）
  - 緊急時のマスコミ対応（個別取材と記者会見）
  - 会見場所、会場準備、役割分担
  - 想定問答作成と予行演習
  - 代表会見者と会見者、司会者
  - 会見時留意点
  - 二者択一、仮定、誘導質問への対応
  - 会見の場は法的視点より社会的・倫理的視点
  - テレビメディア対応
  - 終了後のぶらさがり対応
  - ウェブサイトで声明文公表
  - ネットメディア対応
  - 誤報道対応とリカバリー広告
- 10、事象・ケース研究
  - 学園内事故・事件
  - 学園外事故・事件
  - 無理難題保護者対策
  - ハラスメント等人権問題

### 講師紹介

ふじえ としひこ

藤江 俊彦 氏

千葉商科大学名誉教授  
同大学院客員教授

昭和 45（1970）年慶應義塾大学法学部政治学科卒業。

ビジネス・キャリア後、淑徳大学教授、早稲田大学大学院商学研究科非常勤講師、島根大学法文学部非常勤講師、千葉商科大学政策情報学部教授、同大学院政策情報学研究科委員長・教授を経て現職。

専門はソーシャル経営論、リスクマネジメント、経営戦略論等。

その他、内閣府、経済産業省、環境省、国土交通省など行政・公共機関各種委員歴任、各省、自治体、大学等での講演。（一社）日本経営管理学会代表理事・副会長、（一社）日本経営管理協会副会長、危機管理システム研究会顧問・元会長、ソーシャルリスクマネジメント学会理事、日本リスクマネジメント学会理事、（公社）全能連認定マスター・マネジメントコンサルタント、（公社）日本広報協会広報アドバイザー、国連認可 NGO 国際経営コンサルタント協会マネジメント・コンサルタント。

主な著書には「第五版 実践危機管理読本」（日本コンサルタントグループ）、「災害危機管理読本」編著（日本コンサルタントグループ）、「価値創造の IR 戦略」（ダイヤモンド社）、「現代の広報 戦略と実際」（同友館）他多数ある。